

# 公立阿伎留医療センター



公立阿伎留医療センターは東京の西部、秋川流域の地域医療と、救急医療を担う中核病院として、平成18年より新病院で診療を行っています。

# あきる野市はここです



# 交通案内



新宿よりJR中央快速線、青梅線で拝島、または西武線で拝島  
拝島よりJR武蔵五日市線、  
武蔵引田駅より徒歩5分

圏央道、日の出インターから車で  
3分、あきる野インターから車で7  
分

北側に接して巨大ショッピングモールがあります



# 南東側の富士通テクノロジーセンター跡地に、 SRL検査センターの建設が始まりました。





# 公立阿伎留医療センターの沿革

- 大正12年 6月 9日 西阿伎留村外四ヶ町村病院組合を設立
- 大正14年 4月10日 単独伝染病院を開院
- 昭和27年 3月27日 一般6床、結核114床、伝染55床に変更
- 昭和44年12月 4日 一般140床、結核56床、伝染34床に変更
- 昭和47年 3月31日 新病院に移転。
- 昭和58年 4月14日 総合病院の承認
- 平成 9年 8月26日 東京都災害時後方医療施設、災害拠点病院(国)
- 平成15年 5月 1日 単独型臨床研修病院として医師臨床研修を開始
- 平成17年 8月22日 病院機能評価(Ver4.0)の認定
- 平成18年 8月 1日 公立阿伎留医療センターに改称し新病院を開院
- 平成22年 8月22日 病院機能評価(ver6.0) 更新認定
- 平成27年 8月22日 病院機能評価(機能種別評価項目3rdG:ver1.1)  
主たる機能:一般病院2 副機能:緩和ケア病院 認定

# 病院の理念

公立阿伎留医療センターは、  
医の心を重んじ、患者の生命と健康と  
生活の質を考える良質の医療を実践し、  
地域医療の最適化に努力します。

# 基本方針

1. 患者中心の医療の確立  
患者の権利・尊厳を大切にし、安心・安全・納得の得られる全人的医療を提供します。
2. 医療の質の維持・向上  
根拠に基づいた高水準の医療を実践し、医療の質の維持・向上に努めます。
3. 地域医療の連携と機能分担の推進  
地域の中核病院として、医療・保険・福祉施設との連携と機能分担を推進し、地域と社会に貢献します。
4. 医療環境の改善  
職員が働きやすく、豊かな人間性と高い倫理性に満ちた医療環境をつくれます。
5. 健全経営の確保  
公営企業の本旨を発揮し、経営の効率化と健全化を図り病院の自立に努めます。

# 診療実績

- 医師数 常勤医48名、非常勤医71名
- 診療科20科
- 病床数 305床
- 平均入院患者数 212.9人/日
- 外来患者数 638.3人/日
- 手術件数 1,637件

医師数等:H31(2019).4.1現在  
患者数等:H30(2018)度実績

# 専門医制度教育指定

- 臨床研修指定病院(基幹型)
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会時実地修練認定教育施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本整形外科学会認定医研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本眼科学会専門医研修施設
- 日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本超音波医学会専門医研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設

# 常勤医の内訳

- 内科 5名  
(総合内科・呼吸器内科・腎臓内科・リウマチ科)
- 消化器内科 5名
- 循環器内科 4名
- 小児科 1名
- 皮膚科 2名
- 救急科 2名
- 外科 5名
- 乳腺外科 1名
- 呼吸器外科 1名
- 整形外科 3名

- 脳神経外科 3名
- 産婦人科 4名
- 泌尿器科 2名
- 麻酔科 4名
- 眼科 1名
- 放射線科 1名
- 緩和治療科 2名
- 歯科口腔外科 2名
- 臨床研修医 5名  
(1年次3名・2年次2名)

# 研修医の待遇

1. 身分: 非常勤嘱託職員
2. 給与: 1年次: 350,400円(宿日直手当、通勤手当別途支給)  
2年次: 386,300円( 同上 )
3. 勤務時間: 原則8時30分より17時15分まで
4. 当直: 指導医と共に当直する(平均夜間: 4回/月、日直: 1回/月)
5. 社会保険: あり(協会けんぽ・雇用保険・労災保険)
6. 医師賠償責任保険: 病院で加入(個人負担なし)
7. 学会、研修会への参加可、規定内で参加費用支給あり
8. 休暇: 年次休暇 15日/年 夏季休暇: 4日/年  
年末年始休暇: 12月29日から1月3日まで

# 初期研修プログラム

## 基本プログラム

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年次	内科						救急			選択科目			
2年次	地域医療	精神科	産婦人科	外科	小児科	選択科目							

地域医療：檜原診療所、馬場内科クリニック、葉山医院、あべクリニック、近藤医院

精神科：高月病院

## 救急部に進んだN先生のローテーション例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科(感染症)		内科(糖尿病)		内科(呼吸器)		内科(消化器)		救急	脳神経外科		
2年次	麻酔科	地域医療	精神科	皮膚科	緩和ケア	小児科	産婦人科	救急	脳神経外科	内科(循環器科)		救急

# 精神科研修 高月病院



# 地域医療

檜原村の診療所



日の出町の  
クリニック



# 電子カルテ



最新版の電子カルテを使用して診療を行い、動画サーバーも設置されています

# 病棟



# 医局



医局秘書さん  
にもお世話に  
なります

全科の先生が一部屋の医局です。  
研修医の席は入り口付近に配置され、  
コンサルテーションも気軽に出来ます。

各自のデスクで自分のPCの  
LAN接続ができ、レーザープリンター  
にも接続されます。



# 図書室



司書さんにお問い合わせすると、図書室にない文献の  
取り寄せもスムーズに行えます。

# 当直室



男女別に分けられており  
当直明けにシャワーも浴びられます

# 内科抄読会



# 研修医宿舎の1例



病院から幹旋され補助が出ます。病院の近くで、広さは2DKです。

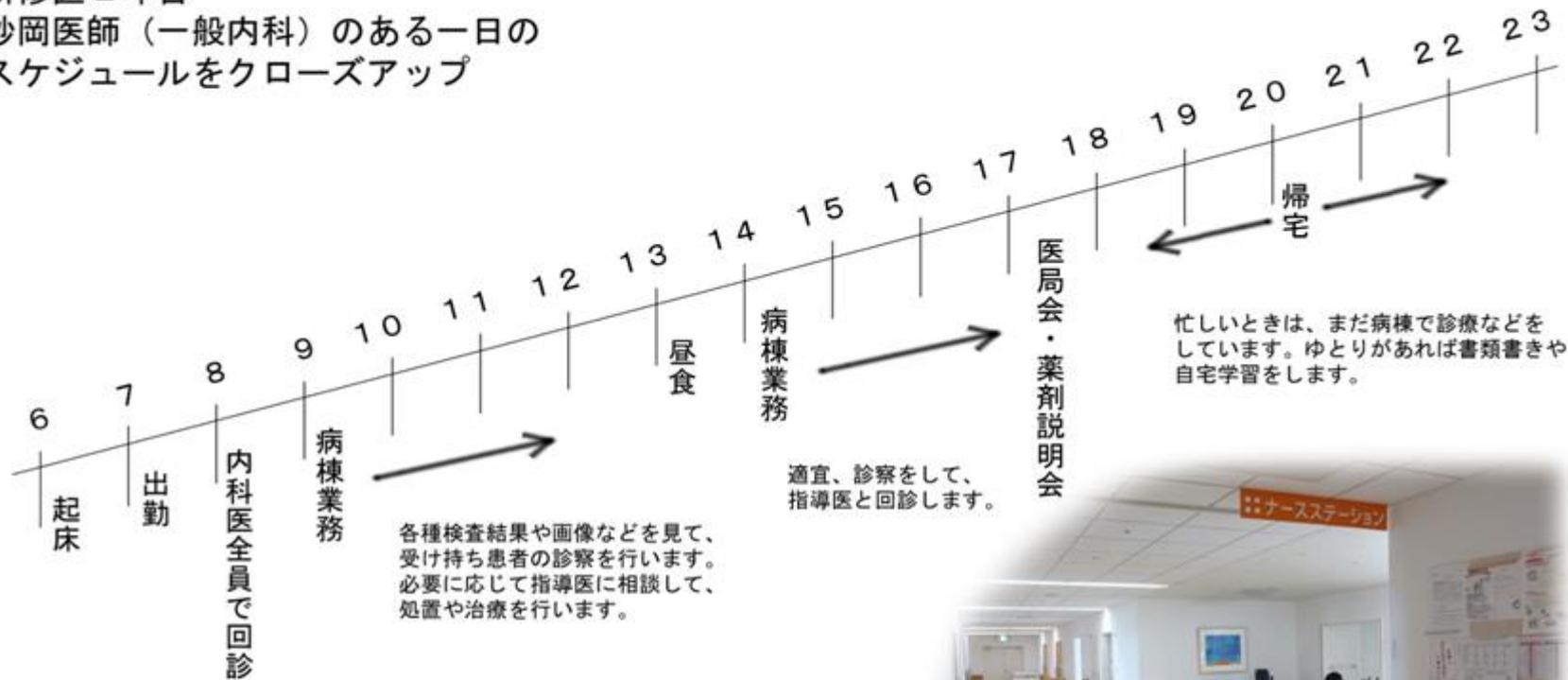
# 研修医宿舎の1例



病院から幹旋され補助が出ます。病院の近くで、広さは2DKです。

## 研修医 2年目

### 砂岡医師（一般内科）のある一日のスケジュールをクローズアップ



受け持ちは10～15人くらい。  
バイタルや看護記録などで、  
深夜帯の状況を把握します。

#### 決め手

- 建物は新築です。キレイ。
- ゆとりがあり自分のペースで学べます。

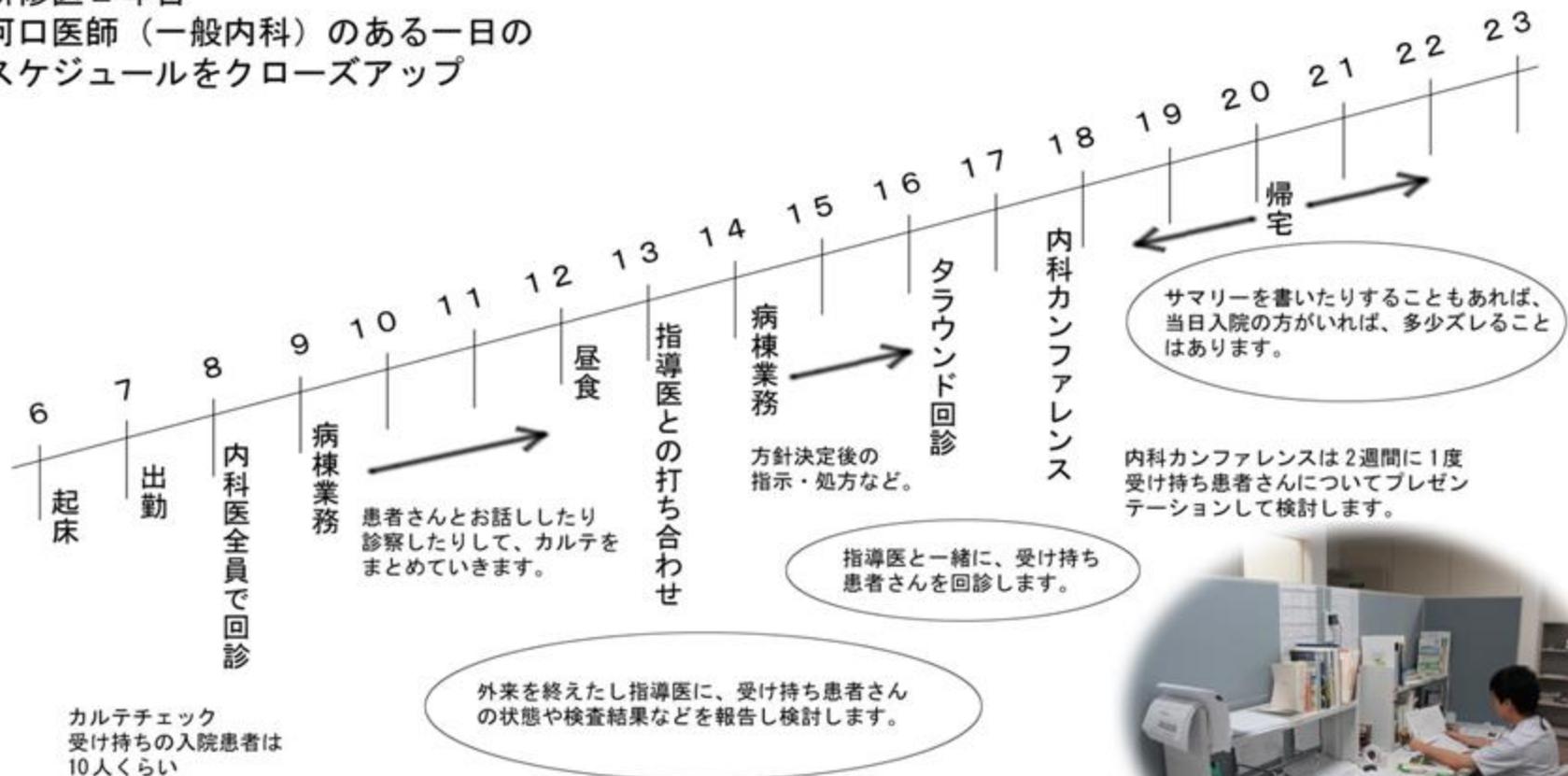
#### 実感

- 大学病院と異なり、診療科の垣根が低く、すぐにご指導いただけます。
- 週に1日、救急外来の日があり、その日は救急医の指導下で救急外来をうけもちます。
- 当直は月に4回ほどあり、指導医の先生と一緒に当直をします。



## 研修医2年目

### 河口医師（一般内科）のある一日のスケジュールをクローズアップ



#### 決め手

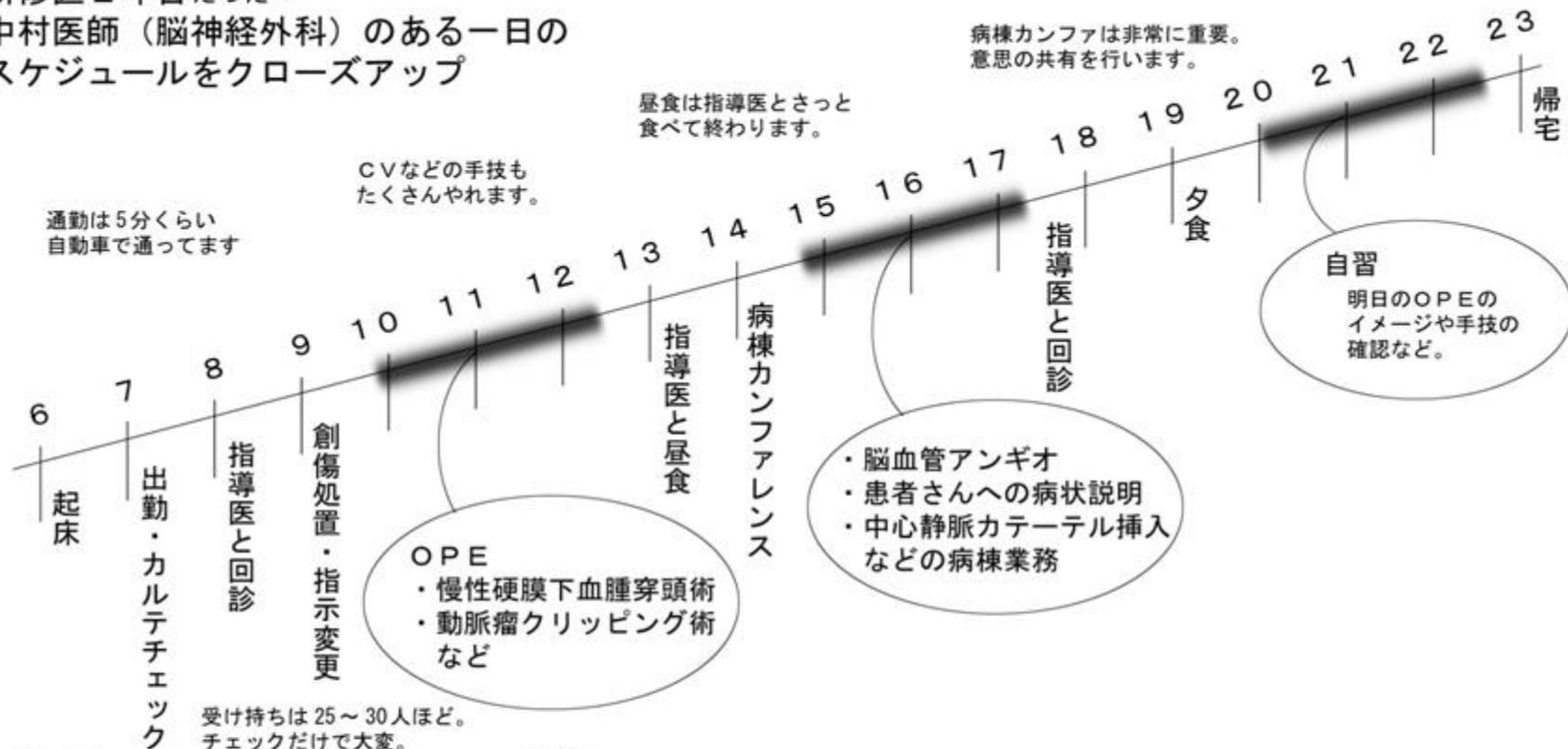
- 地域中核の市中病院である。
- 病院内がとてもきれい。
- 研修したい科を選択できる自由度がある。

#### 実感

- 週に1度の救急外来は、初診から診断までのプロセスをこなすため、とても勉強になる。
- 指導医以外の先生に、わからないことを相談する垣根が低い。
- 専門科にとらわれず、幅広く内科全般を勉強できる。



# 研修医2年目だった… 中村医師（脳神経外科）のある一日の スケジュールをクローズアップ



## 決め手

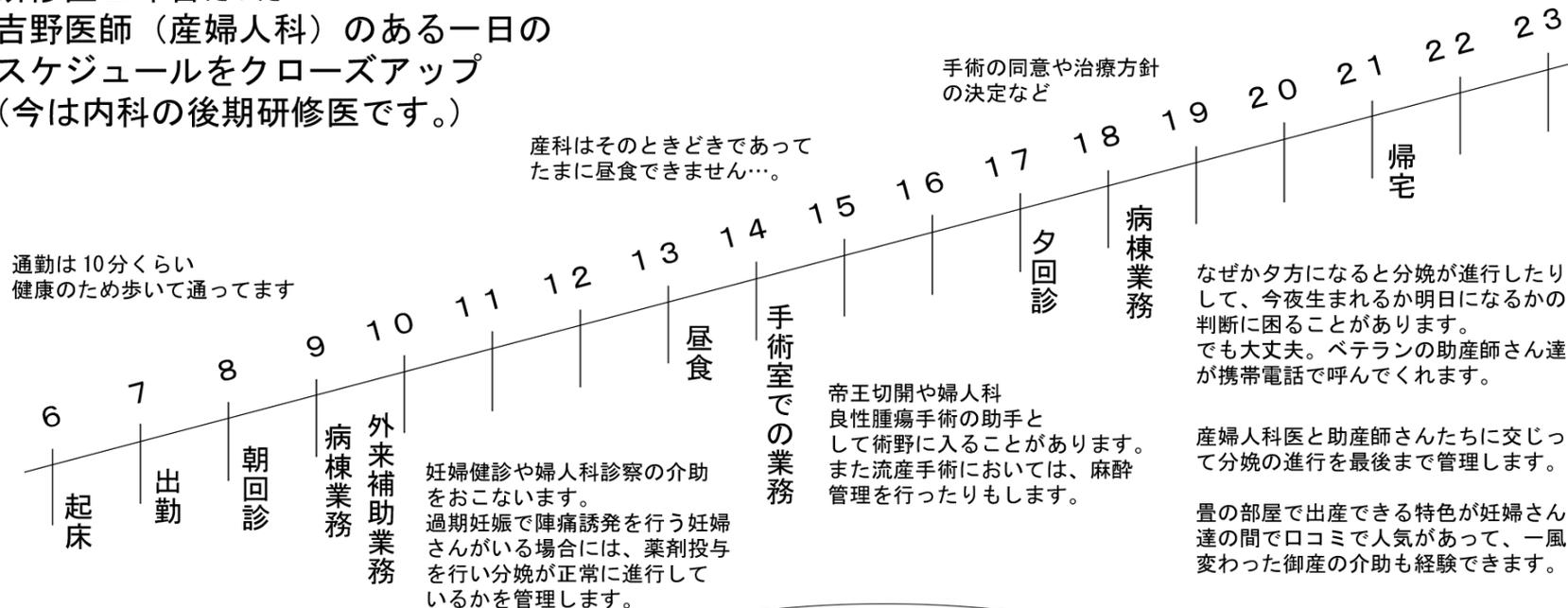
- 非常にアットホーム。  
→専門性の土台となる初期対応を学ぶことができる。
- 科の垣根が低い。  
→すぐに相談できたり、ご指導頂くことができる。
- キレイ

## 実感

- 受け持ちが多いため大変だが、  
情報をうまくまとめる力が育つ。
- 全身管理を学ぶ機会が多い。  
レスプレーターの操作や降圧・  
血糖コントロールなど、多岐に  
わたって学べる。
- 手技は積極的にやることできる。

- 外来の初診もできる。
- OPEでは穿頭術などは、  
指導下でオペレーターまで  
することができた。
- 創傷・褥瘡管理なども学べる。

# 研修医2年目だった… 吉野医師（産婦人科）のある一日の スケジュールをクローズアップ （今は内科の後期研修医です。）



産婦人科の入院患者は一定しません。だいたい産科8人・婦人科2人くらい。年200件超の御産があります。

地域医療において産科はとても需要が高いです。研修医の1カ月間だけかもしれないが周産期の基本的なことを万遍なく学ぶことができます。

## 決め手

- 設備がすべて最新式。  
電子カルテで学びやすい。
- 地域医療の公立病院だから、小児科・産科もそろっている
- 救急外来は救急専門医がいる  
→2次救急でありながら、3次救急並みの技術を学べる

## 実感

- 医局が一緒なので、どんな先生にでも気軽に相談しやすい
- 研修医が少ないので、症例や手技の取り合いにならない
- 救急外来で初診から診た患者を、退院まで一貫して受け持つことが勉強になる
- 選択科は研修医の意向を尊重してくれる

病院内にはベーカリーがあり、おいしい焼きたてのパンが食べられます。  
（メロンパンがお勧め！）

都心まで1時間ちょっと。緑豊かなあきる野で研修医生活をじっくり過ごして、週末は気分転換ついでに都会に医学書などを買いに行くことができます。